

Kamu Kamu News

カムカム・ニュース

2018.10 vol.68

10月11日（木）三重県伊賀市立柘植小学校 6年生の皆さんが、ヨリタ歯科に来て下さいました！

今年の柘植小学校の修学旅行イベント
および、職業体験のテーマは
『**団結力 ～ チームワークを
深めよう ～**』でした！

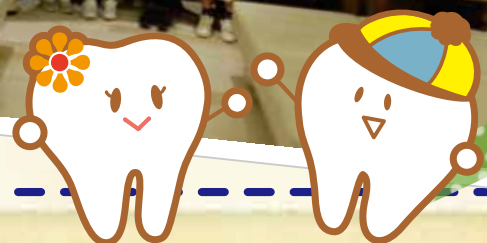
歯に関するクイズや、様々な歯科の職業体験
通じ、歯の大切さ、そしてチームワークの
大切さを学んでいただきました！

みんな楽しそうに、歯科体験をやっている姿
を見て、私たちもとても嬉しかったです。

これからも**チームワークを大切に**して、**夢に
向かって頑張**って欲しいと強く願うヨリタの
スタッフ一同でした。



柘植小学校の
皆さん
ありがとう
ございました！



歯の構造を知ろう②

今回は、歯の構造 ①エナメル質、②象牙質、③歯の神経のうち、
①エナメル質について、解説しました。
エナメル質は歯にとっての鎧で、とても大切です。

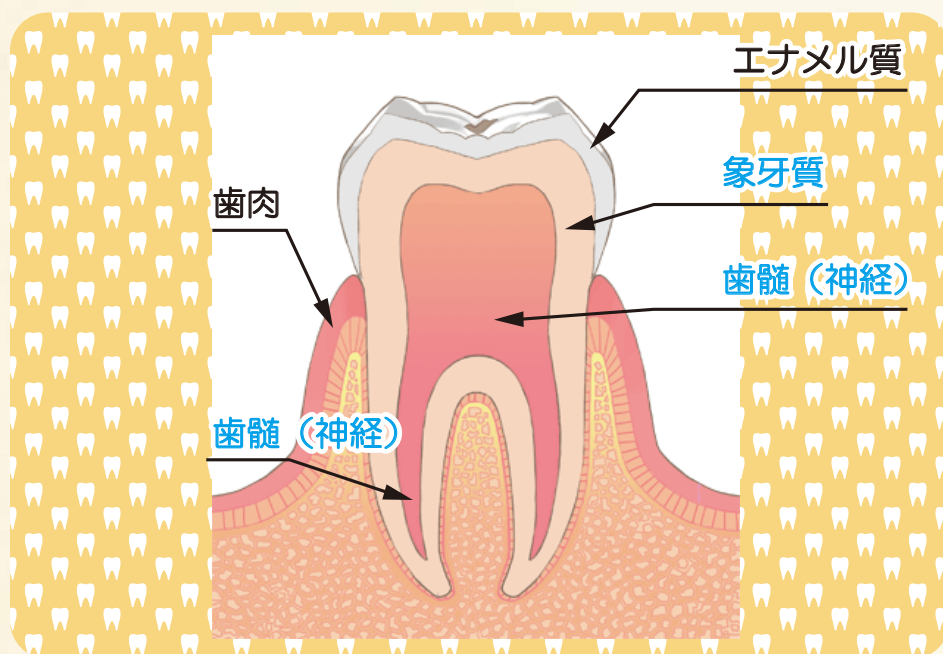
今回は②象牙質について、書きます。

エナメル質と象牙質、両方ともパッと見た感じは同じ歯です。
よくよく見ると、エナメル質は白く透明感があり、
象牙質は字のごとく、アイボリー（象牙色）です。

色だけでなく構成されている成分、硬さも違います。
構成成分は、エナメル質はほとんど hidroキシアパタイトです。
無機質なカルシウムの結晶のみなので、硬いわけです。

しかし、象牙質はそれに加えて、神経組織やコラーゲンなどを含みます。
なので、エナメル質に比べて、柔らかいのです。
象牙質には歯の神経が含まれていて、これが最も大きな違いです。
エナメル質には神経はありませんが、象牙質には神経が含まれます。

エナメル質は神経がないので、削っても痛くないと前回解説しました。
しかし、象牙質は歯の神経から枝が出ていて、痛みを感じます。



虫歯になって歯に穴が開いて、ここが見えると冷たいものや甘いものが
染み出します。また歯茎が下がった時も象牙質が見えてきて、
風などが、しみるようになります。

この見えた象牙質が過敏に反応することを、
『知覚過敏』と言います。

エナメル質で虫歯が止まっている時は、治療の必要はありませんが、象牙質まで進むと、治療が必要です。
小さい虫歯であれば、レジンと呼ばれるプラスチックで治療を行います。
大きい時は型をとって、詰め物や被せ物の治療になります。

エナメル質のように痛みを感じなければ、虫歯になっても歯科治療になっても楽なのに、ではどうして、象牙質は痛みを感じるのでしょうか。

この痛みの感覚というものは、人間にとって非常に重要です。

例えば熱いものに触れた時、痛みを感じます。
それは体がこれ以上熱いものを触ると、火傷をしてしまう、
体にとっては非常に危険なため、
痛みを通して我々に知らしてくれます。

歯の痛みも、歯の危険を知らせてくれています。
虫歯で歯に穴が開いてしまって、どんどん溶かされてしまうと
歯が無くなります。
神経を取っている歯では、虫歯になっているけど痛みを感じません。

そうすると、気がついた時には歯に大きな穴が開いて
治療ができず、抜歯になることもあります。

歯の神経が残っている場合は、大きな穴が開く前に
歯の危険を痛みで知らせてくれます。
その段階で歯医者に来てもらえれば、歯を治療して
治せることがほとんどです。

象牙質まで進行



- 進行程度：象牙質まで、虫歯が進行した状態。
- 症状：時々、冷たい物・熱い物・甘い物等がしみて、痛む。
- 処置方法：虫歯の部分を除去し消毒した後詰め物、又は冠せ物により修復する。

また早い目に発見できるので、治療も軽度な治療で終わることがほとんどです。

痛みを感じた場合は大丈夫かなと思っても、早い目の受診をお勧めします。

歯に痛みを感じたら
早めに歯科医院へ
来て下さいね！